

不合理な基本動作の 強要は危険行為！

**ふざけるな！ただちに乗務に戻せ！
右手で「左側ドア」を扱い日勤再教育！**

7月17日、亀山運輸区の組合員がワンマン列車で乗務中、「ドア扱いの基本動作不良」との理由で「日勤再教育」が指定されました。理由は、「左側のドアスイッチを右手で扱った」からだそうです。

確かに、基本動作マニュアルが変更され、「左側ドアは左手で」、「右側ドアは右手で」扱うとなっています。しかし、現場の運転士からは、急にマニュアルが変更され、かえって不合理で、違和感、危険性を訴える声が根強くあがっています。会社は、このような現場の声を一切無視し、合理性のない危険行為とも言える「変更」を強要しているのです。基本動作は、長年の経験と教訓から生まれたものです。現場で働く者の実践によりつくり出されるものです。人間の生理的なことから考えても、右利き、左利きということは無視することは不合理です。このような基本動作の強要は安全を脅かします。

私たちは、声を大にして主張します。このような基本動作は間違いです。ただちに、「不安全、不合理な基本動作の強要はやめろ！」と。

今回の「乗務降ろし」と「日勤再教育」は、「会社の決めたことは絶対！黙って従え！」という労務管理のあらわれです。このような風土を許したら安全が脅かされてしまいます。

皆さん！間違いには間違いと、おかしいことにはおかしいと、職場からしっかり声をあげましょう！

**現場の声を無視した
基本動作の強要は間違いだ！**